



しもながや

令和3年5月31日 発行

横浜市立下永谷小学校

新たな学びの形

副校長 松本 未紀

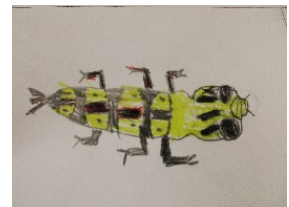
どんよりとした曇り空の下でも、子どもたちの笑顔は輝いています。この4月に着任してまいりました副校長 松本未紀と申します。着任してから2か月。下永谷小学校の子どもたちはとても素直、純粋で愛情豊かに育てられていることを実感しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大による大変厳しい状況の中、感染の拡大防止のため、また、感染による被害を最小限にするために、様々な点で地域の方々・保護者の方々にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

下永谷小学校に着任して間もなく上の階に校内の見回りに行くとすばらしい景色が広がっていました。富士山が綺麗に見え、思わず声が出たほどです。私は静岡の出身で、進学で家を離れるまで、学校の登校時にはいつも富士山に「今日も頑張ります。」「テストが憂鬱です。」など心の中で唱えながら通っていました。富士山が見えるのが当たり前の日常であったのが、実家を離れ、富士山が見られない生活も長くなりました。当たり前の日常がどんなに自分を豊かにしてくれていたかを下永谷小学校からの景色は思い出させてくれました。

さて、これまで保護者の皆様には、ICT活用の関連で個人情報の取り扱いに関する承認やロイノートでGoogleアカウントを用いた接続確認についてのご協力をいただきました。アンケート、連絡帳、電話等で様々な疑問点やご意見を伺いました。いただいたアンケートの結果を教育委員会に報告いたしました。丁寧に取り組んでいただき感謝申し上げます。現在、学校では子どもたち1人1台のタブレット端末の貸与をするために、順次準備を進めています。今後、子どもたちが学習や生活の中でノート・教科書・鉛筆などと同じように学習用具の一つとしてタブレット端末を活用していきます。写真や動画を自分の表現に用いたり、意見の交換を画面上でしたり、近くにいなくても学習に参加したり、学習の形が広がっていくことでしょう。

先日、2年生がヤゴとりを行いました。ヤゴがトンボになる姿を楽しみに、大事そうにペットボトルに入れて教室に運んでいました。トンボになる様子は動画を調べれば見られます。しかし実際に目の前で羽化する姿を見たら感じ方はきっと違うと思います。ネット等で簡単に知識を得ることができる時代になったからこそ、何を大事にして思考し、何を体験し、どのように共有するかを見極めていく必要があります。豊かな体験を大事にすることは、今も昔もこれからも変わらないことでしょう。



2年生 ヤゴの観察